

## 法人・事業所における虐待防止のための 具体的な取り組み (グループワークまとめ)

- ・人財育成（どう人財を育てるか。どのような人財を育てるか。）
- ・支援者自身の資質の向上
- ・リーダーの育成（教える機会を設定）
- ・階層別の研修設定
- ・職員間のコミュニケーションを良好にする
  - 事例検討、話し合う、挨拶をしっかりとる、グループワークの時間を取る、会議の中で話しやすい工夫（目的をはっきりさせる）、会議の時間を確保する、アイスブレイク etc していく
- ・日々の職員間のコミュニケーションが大切
- ・職員それぞれの価値観の共有が必要
- ・チェックシートを実施する
- ・会話と対話を意識して、職員間で対話していく。
- ・ストレスを溜めないような職場づくり、仲間づくり
- ・気づきメモやヒヤリハットの利用 → 簡単な方法（誰でもできる方法）に変更していく。
- ・職員がなんでも相談できる職場づくりを考える。

### 《指導者からのコメント》

- ・体制整備は出来上がってきているが、体制自体の振り返り、見直しが必要。
- ・職員相互のコミュニケーションが大切であり、管理職が大切にしていく。
- ・風通しを良くしていくのが管理職の仕事。
- ・研修内容をどう現場の中に活かしていくのかが一番大切である。
- ・現場の中に活かしていくためには、組織の中での位置づけをしっかりと作る。
  - 支援の向上が必要。（障害の特性を理解する、職場のコミュニケーションを含めたチームとしてどう支援していくのか、ガイドラインをはっきりさせる等）
- ・研修を活かせるような環境を作る。活かせる場がないと意味がない。
- ・我々の仕事は、障害のある方の権利を保障していくことである。事業所だけでなく、地域の中でもそういった価値観を作っていく。障害のある方が他の人と平等に生活できるような地域を作っていく中で、我々の仕事があることをしっかりと押さえてもらいたい。